

2014年3月期 第2四半期決算概要

2013年11月8日
千代田化工建設株式会社

1. 業績概要

単位: 億円

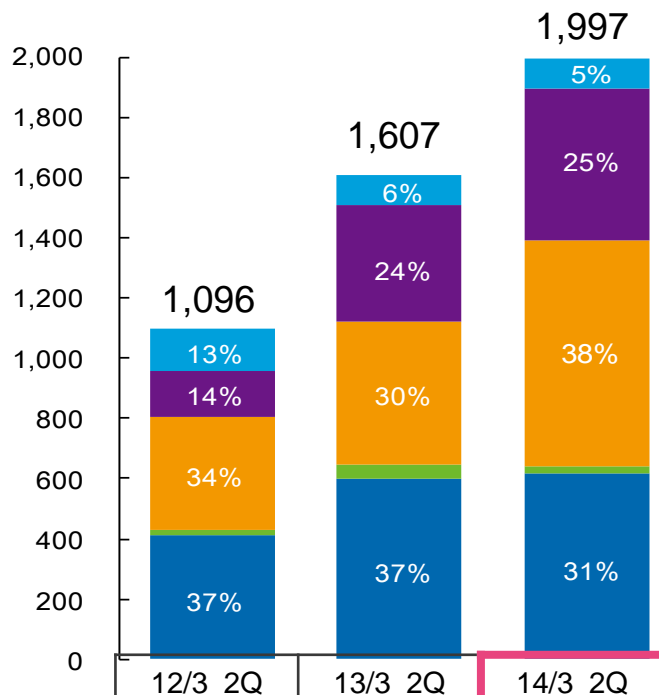
	13年3月期 2Q	14年3月期 2Q	前年 同期比	伸び率
受注高	1,379	961	△418	△30.3%
完成工事高	1,607	1,997	390	24.3%
営業利益	99	111	11	11.5%
経常利益	106	124	18	17.4%
当期純利益	61	74	13	20.9%
包括利益	65	64	△2	△2.9%
為替レート	78 円/\$	98 円/\$		

期首 通期予想	達成率
6,000	16.0%
4,700	42.5%
240	46.2%
260	47.8%
160	46.3%
90 円/\$	

通期予想の達成見通しに変更はない。

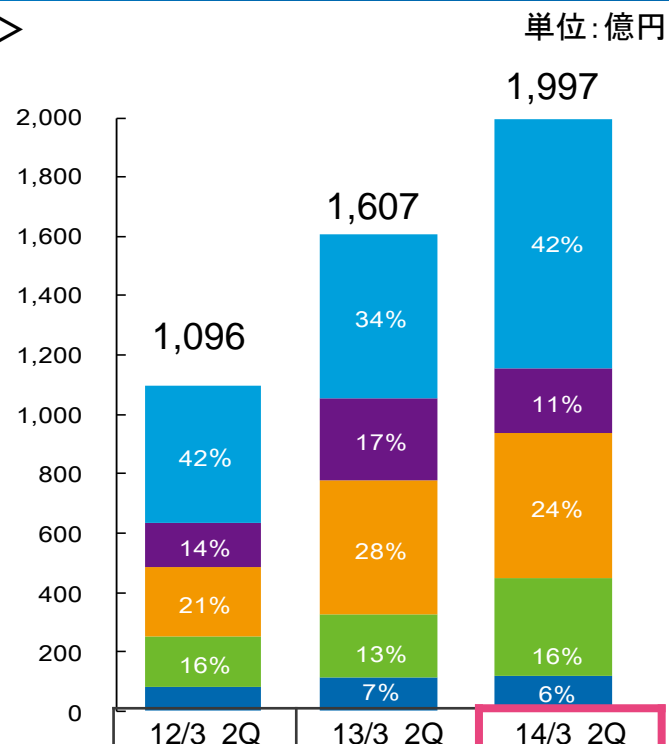
2. 完成工事高

<地域別>



■ 中東	141	101	102
■ アジア	154	386	504
■ オセアニア	373	475	750
■ その他	21	48	27
海外 合計	688	1,010	1,383
国内 合計	408	598	614

<分野別>



■ LNG	461	553	842
■ ガス処理 *1	149	278	219
■ ファイン・インダストリー *2	231	451	488
■ 石油・石油化学	173	210	328
■ 資源・環境・その他	80	115	119

通期予想に対する進捗は42.5%。前年同期比では海外の伸長が続き24.3%増、通期予想の達成を目指す。

【注】*1「決算短信」分類の「その他ガス関係」 *2「決算短信」分類の「一般化学・産業設備関係」

3. 利益関連項目

単位: 億円

	13年3月期 2Q	14年3月期 2Q	前期比
完成工事総利益	182 11.3%	195 9.8%	14 △1.5 pt
販売費及び一般管理費	△82	△84	△2
営業利益	99 6.2%	111 5.6%	11 △0.6 pt
営業外損益	6	13	7
経常利益	106 6.6%	124 6.2%	18 △0.4 pt
特別損益・税金・少数株主利益	△45	△50	△6
当期純利益	61 3.8%	74 3.7%	13 △0.1 pt

完成工事総利益率: 既完成工事の保証期間中のコスト見直しによる改善幅の大きかった対前年同期比では低下したが、1Qに引き続き遂行中案件の採算改善を実現。

4. バランスシート

単位: 億円

	13年3月末	13年9月末	増減
【流動資産】	3,832	3,643	△189
現金及び預金等 * 1	1,829	1,643	△185
営業資産三勘定 * 2	807	728	△79
JV持分資産 * 3	947	1,040	93
その他	250	231	△19
【固定資産】	522	589	67
有形固定資産	145	150	4
無形固定資産	68	159	92
投資等	309	280	△29
【資産】	4,354	4,231	△122

	13年3月末	13年9月末	増減
【流動負債】	2,304	2,170	△134
短期借入金	1	12	11
営業負債三勘定 * 4	1,970	1,872	△98
工事損失引当金	13	32	19
その他	321	254	△67
【固定負債】	156	147	△9
長期借入金	101	100	△1
その他	55	48	△7
【純資産】	1,894	1,914	21
【負債・純資産】	4,354	4,231	△122
【自己資本】	1,884	1,896	12
【自己資本比率】	43.3%	44.8%	1.5 pt

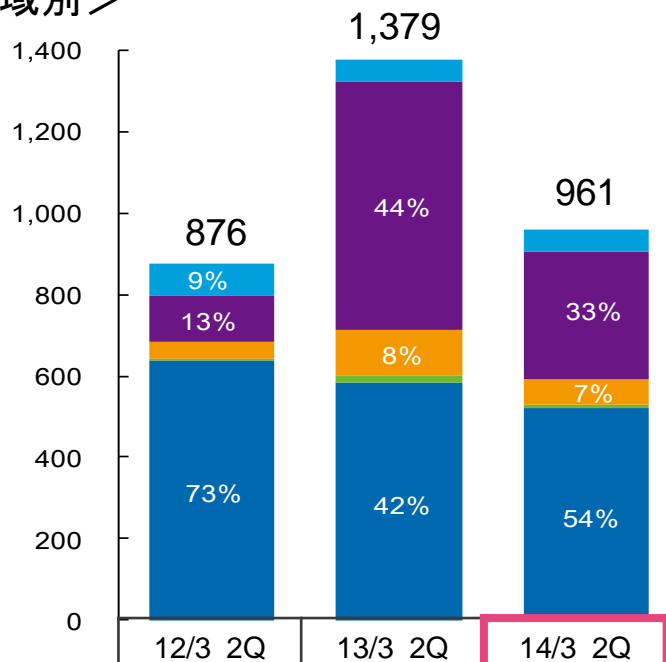
【注】

- * 1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券(譲渡性預金等)
- * 2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- * 3 JV持分資産: ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- * 4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

固定資産増: 英国エクソダス社との資本提携による株式取得等。
純資産増: 当期純利益74億円計上、支払い配当金49億円。

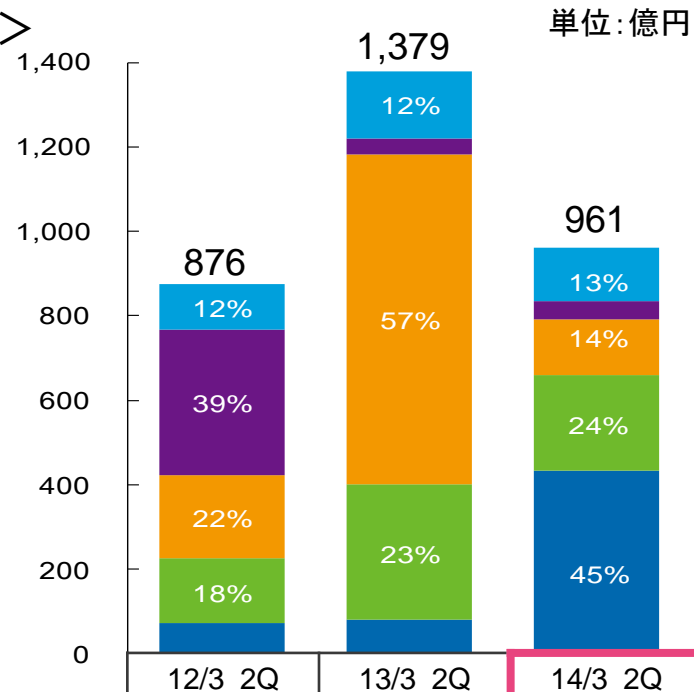
5. 受注高

<地域別>



	12/3 2Q	13/3 2Q	14/3 2Q
■ 中東	82	53	56
■ アジア	110	609	313
■ オセアニア	45	114	64
■ その他	2	18	8
海外 合計	238	795	441
国内 合計	639	584	520

<分野別>



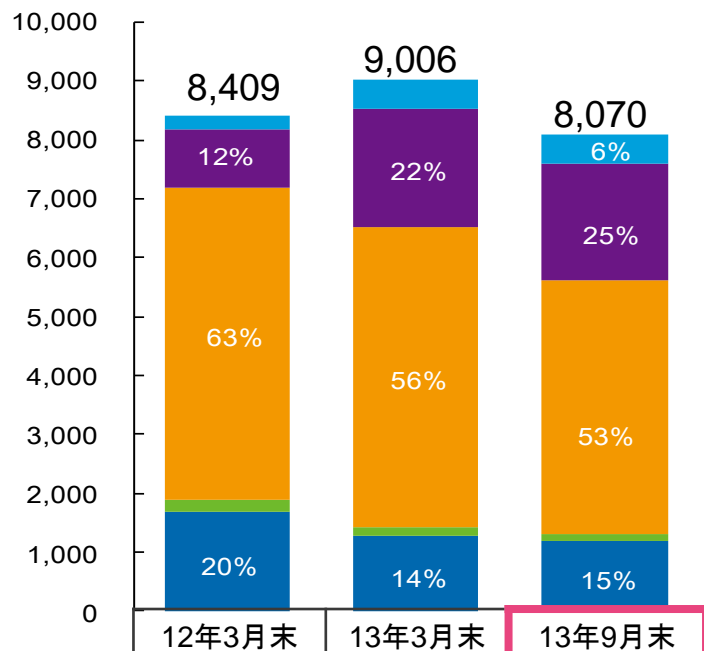
	12/3 2Q	13/3 2Q	14/3 2Q
■ LNG	107	160	127
■ ガス処理 *1	345	36	43
■ ファイン・インダストリー *2	197	782	133
■ 石油・石油化学	155	321	227
■ 資源・環境・その他	71	80	432

モンゴルの空港案件、国内のメガソーラー（複数）などにより資源・環境・その他分野が大幅に伸長。
海外大型案件が下期に期待され、通期受注予想額に変更はない。

【注】*1「決算短信」分類の「その他ガス関係」 *2「決算短信」分類の「一般化学・産業設備関係」

6. 受注残高

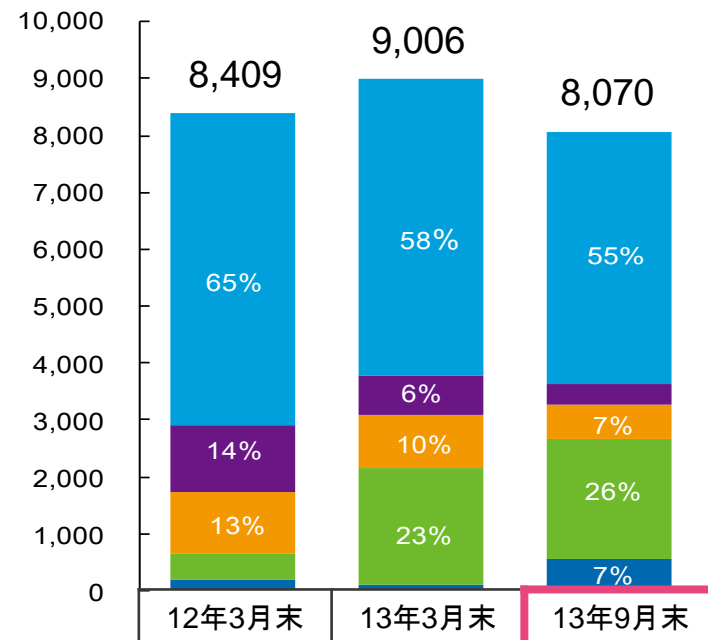
<地域別>



■ 中東	240	493	478
■ アジア	979	2,008	1,984
■ オセアニア	5,305	5,082	4,298
■ その他	202	145	128
海外 合計	6,726	7,728	6,888
国内 合計	1,683	1,278	1,182

<分野別>

単位: 億円



■ LNG	5,486	5,212	4,433
■ ガス処理 *1	1,130	547	371
■ ファイン・インダストリー *2	1,070	906	586
■ 石油・石油化学	474	2,087	2,107
■ 資源・環境・その他	249	255	573

主な案件は豪州とパプアニューギニアのLNG、マレーシアの多結晶シリコン、ベトナムの製油所など。

【注】*1「決算短信」分類の「その他ガス関係」 *2「決算短信」分類の「一般化学・産業設備関係」

2014年3月期 通期業績予想の内訳

単位: 億円

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	前期比
受注高	4,029	6,000	1,971
海外	2,912	5,200	2,288
国内	1,117	800	△317
完成工事高	3,989	4,700	711
海外	2,481	3,400	919
国内	1,508	1,300	△208
完成工事総利益	425	420	△5
販売費及び一般管理費	△174	△180	△6
営業利益	251	240	△11
営業外損益	4	20	16
経常利益	255	260	5
特別損益・税金・少数株主利益	△94	△100	△6
当期純利益	161	160	△0

経営指標

単位：億円

	10年 3月期	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期	14年3月期 予想
完成工事総利益率(%)	4.5	12.8	15.3	10.7	8.9
完成工事高販管費率(%)	4.0	5.7	5.8	4.4	3.8
完成工事高営業利益率(%)	0.5	7.1	9.5	6.3	5.1
完成工事高経常利益率(%)	1.5	6.4	9.3	6.4	5.5
完成工事高当期純利益率(%)	0.9	3.2	5.6	4.0	3.4
総資産経常利益率<ROA>(%)	1.4	4.6	6.6	6.4	
自己資本当期純利益率<ROE>(%)	2.0	5.3	8.9	9.0	
一株当たり当期純利益<EPS>(円)	11.39	30.79	55.44	62.06	
一株当たり純資産<BPS>(円)	573.61	599.15	648.95	727.24	
自己資本比率(%)	45.3	43.9	46.0	43.3	
流動比率(%)	175.2	173.8	165.5	166.3	
固定比率(%)	25.2	24.0	27.0	27.7	
負債純資産倍率<DER>(倍)	0.07	0.07	0.06	0.05	

参考資料



All Right Reserved. CHIYODA 2013



14年3月期 2Q 完成工事高に含まれる主な案件

◆ LNG・ガス分野

- パプアニューギニア LNGプラント
- オーストラリア LNGプラント
- カタール 千代田アルマナ社 長期EPCm*業務
- 国内 国家石油ガス地下備蓄基地

◆ 石油・石油化学分野

- サウジアラビア 重質油分解装置
- ベネズエラ 重質油処理設備EPsCm**業務
- ベトナム 製油所・石油化学コンプレックス
- カタール 製油所

◆ 新エネルギー・環境・インフラ・その他分野

- マレーシア 多結晶シリコンプラント (第2期)
- フィリピン ニッケル製錬プラント
- 国内 メガソーラー建設工事(複数)
- 設備診断、O&M

*EPCm; Engineering, Procurement and Construction management

**EPsCm; Engineering, Procurement support and Construction management

14年3月期 2Q 受注高に含まれる主な案件

◆ LNG・ガス分野

- 既受注LNG案件 追加工事
- カタール 千代田アルマナ社 長期EPCm業務
- 国内 LPG備蓄基地津波対策工事

◆ 新エネルギー・環境・インフラ・その他分野

- モンゴル 新国際空港建設工事
- 国内 医療研究施設建設工事
- 国内 メガソーラー建設工事(複数)
- 設備診断、O&M

今後の受注見通し

◆ LNG・ガス分野

- LNG案件(北米、東南アジア、アフリカ、ロシア)/ EPC及びFEED案件
- 海外拠点案件(千代田アルマナ社他)/ EPCm及びEPC案件
- 国内 LNG受入基地

◆ 石油・石油化学分野

- 海外ガス・石油・石油化学案件(中東、東南アジア、中南米)/ EPC及びFEED案件
- 海外拠点案件(千代田シンガポール社他)/ EPCm及びEPC案件
- 国内 顧客の海外進出案件

◆ 新エネルギー・環境・インフラ・その他分野

- 太陽熱、太陽光発電案件
- 社会インフラ案件(鉄道・空港・水再利用など)
- 非鉄金属案件

◆ 新たな取り組み分野

- オフショア・アップストリーム案件
- 高度解析・システム化技術の展開(国土強靱化対策、野菜工場最適化等)

進捗状況 中期経営計画「時代を捉え、時代を拓く」

◆ 中小案件の地産地消体制の確立・遂行

- アジア地域プロジェクトマネジメント事業本部の新設
- 千代田アルマナ社他による中東オペレーション拡大中、地域EPC案件獲得

◆ オフショア・アップストリーム分野を事業の柱に追加

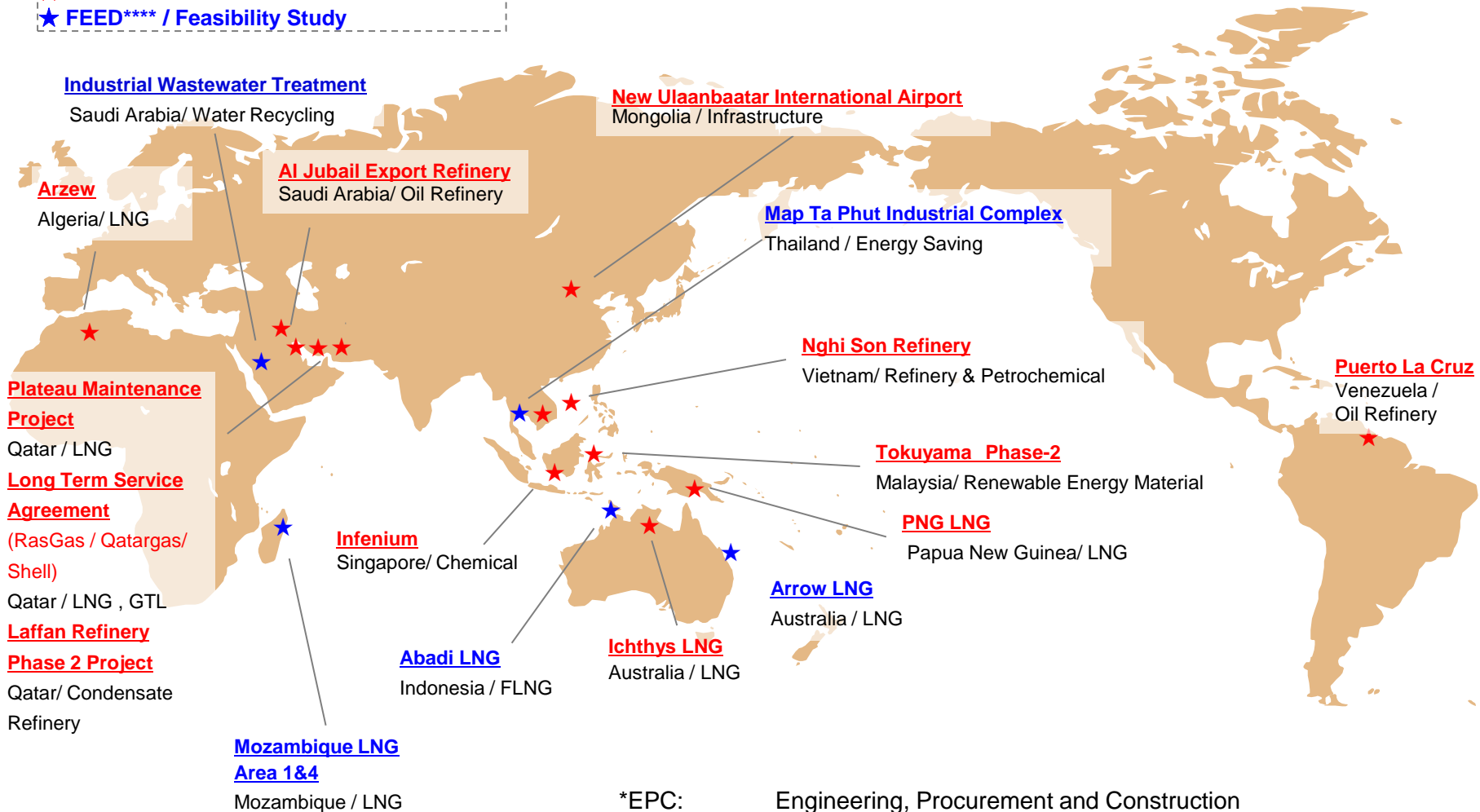
- 英国アップストリーム・サービスプロバイダーとの資本提携
- オフショア・アップストリーム事業本部の新設
- ガボン共和国 海上油田権益保有会社への資本参加

◆ エネルギーインフラ・社会インフラを事業の柱に追加

- 社会インフラ事業への進出: モンゴル新空港建設工事の受注
- 水素社会実現に向けて: 水素の大量貯蔵・輸送システムの実証に成功
- 太陽熱発電: 新システム(溶融塩トラフ型)デモプラント運転開始

Major Projects Under Execution - Overseas

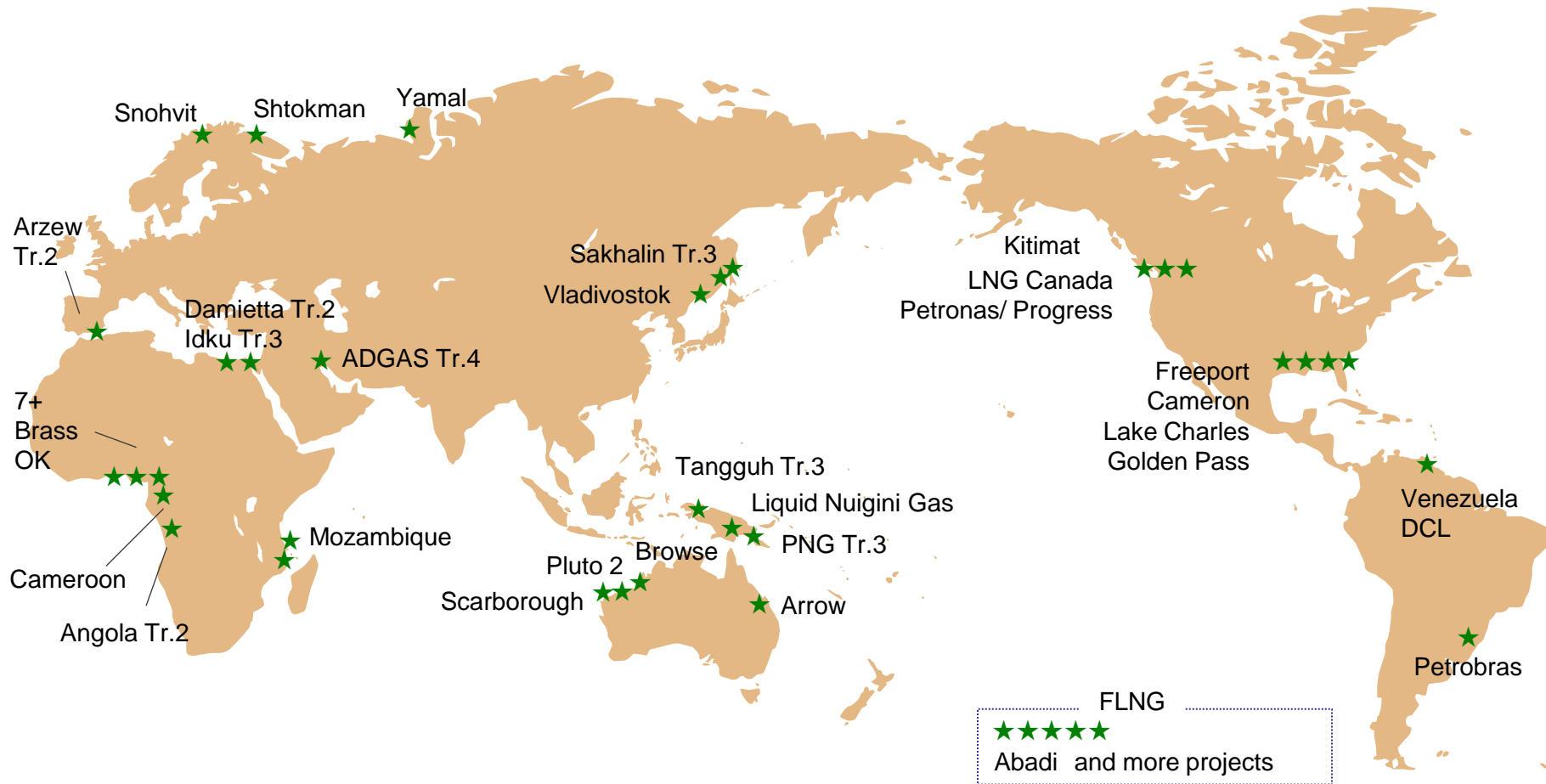
★ EPC* / EPCm** / EPsCm*** Execution
 ★ FEED**** / Feasibility Study



*EPC: Engineering, Procurement and Construction
 **EPCm: Engineering, Procurement and Construction management
 ***EPsCm: Engineering, Procurement support and Construction management
 ****FEED: Front-end Engineering and Design

As of November, 2013

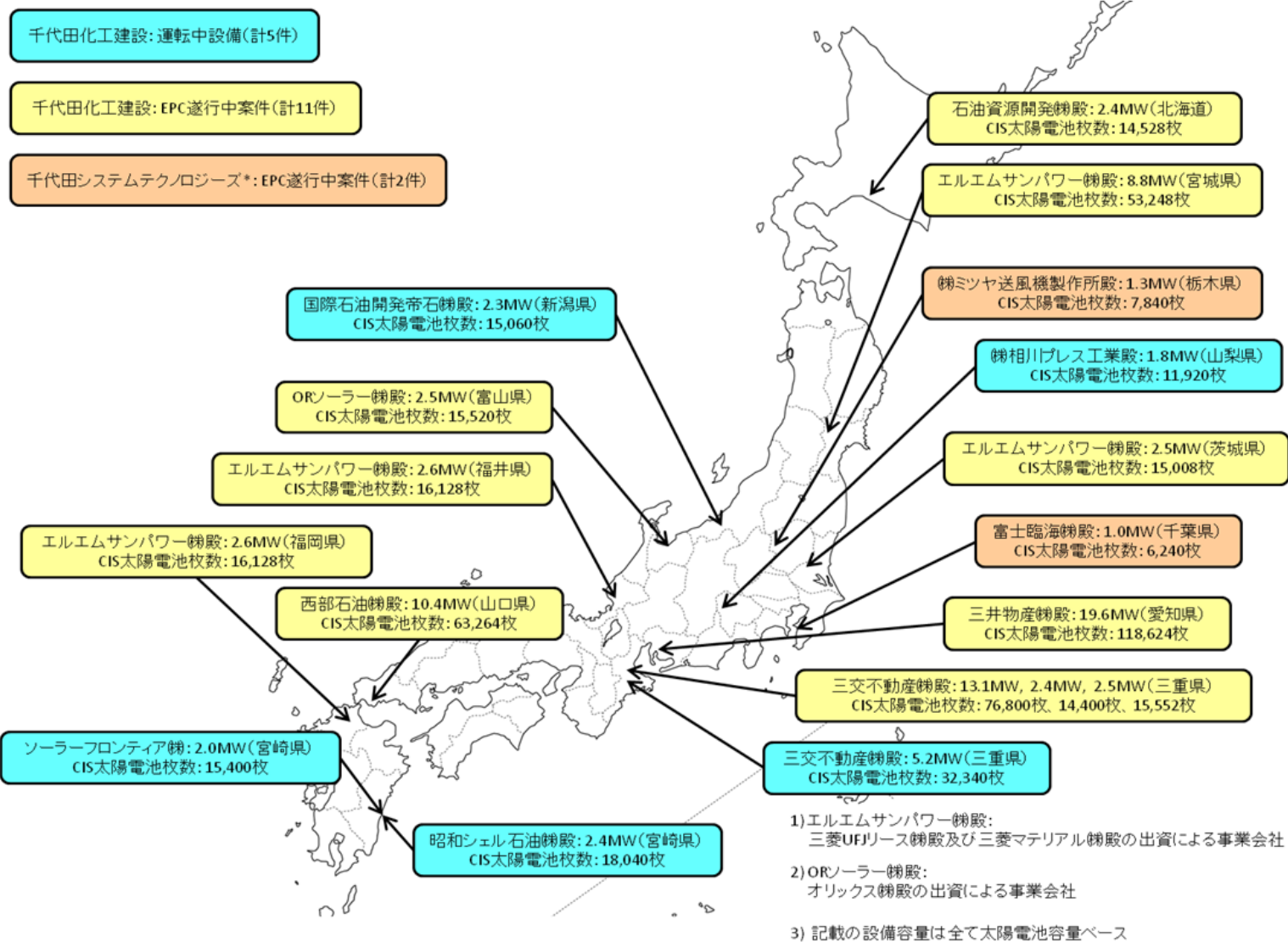
Major Potential LNG Projects (Before Final Investment Decision)



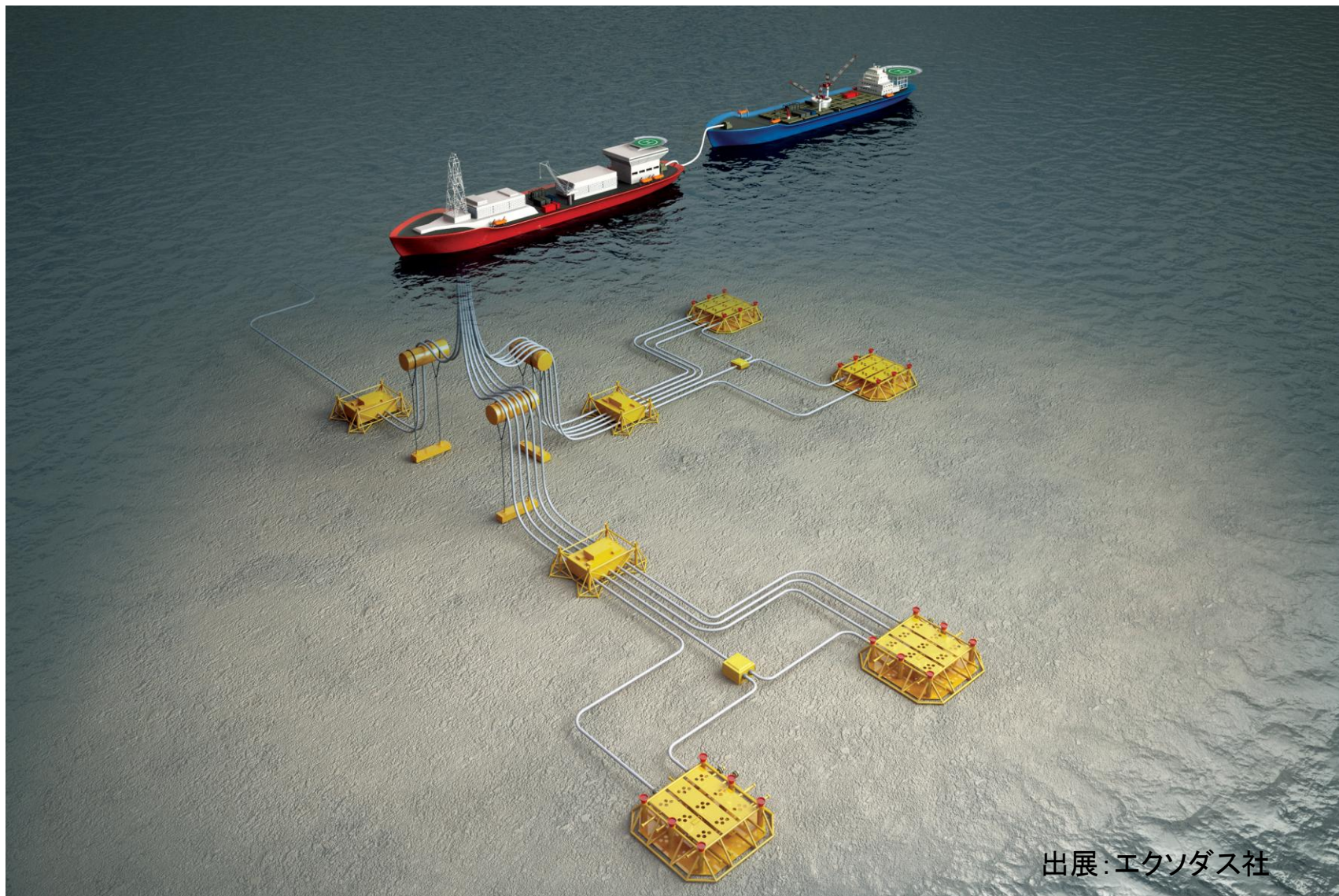
As of November, 2013

Source: Made by Chiyoda Corporation based on various data

国内 メガソーラー建設工事



オフショア・アップストリーム事業



出展: エクソダス社

水素サプライチェーン事業化構想



水素サプライチェーン事業化構想

SPERA水素は、地球上のどこからでも安価に輸送が可能。長期の大量貯蔵でもロスがなく、戦略備蓄にも適しています。

やがては自然エネルギーからSPERA水素を生み出すこともできるなど、地球環境とエネルギーの流れを大きく変える可能性を持っています。

- ① ステップ1として海外の天然ガス産出国、石炭産出国で大量に生まれる副生水素を、トルエンに結びつける水素化プラントを建設します。そのプラントで水素を液体化(MCH)させ、低コストでの長距離輸送や長期貯蔵を可能にします。ガス田、炭田で水素改質時に発生するCO₂はその場で回収し、貯留する(CCS)ことにより、CO₂排出を最小限に抑えることも可能になります。

※1 MCH : Methylcyclohexane
※2 CCS : Carbon Dioxide Capture and Storage

- ② SPERA水素(MCH)はタンカーや備蓄タンクなど既存インフラでの輸送と貯蔵が可能のため、導入コストを最小限に抑えることができます。
- ③ ステップ2では、風力、太陽光などの自然エネルギーを起源とするグリーンな電気を用いて水を電気分解して、水素を製造することができます。これにより将来は無尽蔵でCO₂フリーなエネルギーを供給することが可能になります。
- ④ 大量消費地では大規模脱水素設備で、小規模消費地では使用する場所ごとに小型脱水素装置を設置し、発電所での利用や家庭での利用、自動車の燃料、備蓄など様々な場面でSPERA水素は活躍します。輸送時に使用したトルエンは、何度でも水素輸送に再利用できるので経済的です。
- ⑤ 水素は様々な場所で製造することが可能で、CO₂を出さない理想的なエネルギー。世界のサステナビリティに貢献するエネルギーなのです。

子安オフィスリサーチパークで稼働中のSPERA水素デモプラント



【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報セクションSL 中山 直行

〒220-8765 横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー

TEL. 045-225-7734 FAX. 045-225-4962

URL <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

この資料には、2013年11月8日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。